

## 安心安全な野菜の生産を

～南八甲田高原野菜生産組合通常総会～

南八甲田高原野菜生産組合（比内保幸組合長）は4月14日、平川市の葛川克雪管理センターで第44回通常総会を開き約40人が出席しました。

総会では、今後も野菜産地として継続的に発展するために計画出荷体制を整え、所得向上と経営安定を図るための事業を推進することとしました。

比内組合長は「新型コロナウイルス感染症の影響もあり厳しい状況が続くと思うが、安心安全な野菜の生産・販売ができるよう1人1人が体調管理に気を配ってほしい」と話しました。



挨拶をする比内組合長

## 米穀情勢などを確認

～特A米プレミアム研究会会議～

特A米プレミアム研究会（工藤憲男会長）は4月9日、平川市の津軽おのえ温泉福家で会議を開き、研究会員やJA関係者ら約20人が出席しました。

青天の霹靂の令和2年産出荷状況や3年産の作付け状況などを確認。また、JA全農あおもり米穀部川村次長が米穀情勢について説明し、販売状況や価格動向を確認しました。



米穀情勢を確認する会員

## 市長がりんご生産者を激励

～平川市農作業督励～

平川市は5月7日、令和3年農作業の督励を行い、品質の高いりんごの生産を推進するため、当JAの生産者5人の園地を巡回しました。

平賀基幹支店管内の葛西厚平さんの園地には、生産者約20人が出席。長尾忠行平川市長は「これから摘花・摘果作業に励むことになると思いますが、身体を大切に、怪我をしないよう十分注意してください」と激励しました。また、生産者との意見交換や園地の視察なども行いました。



葛西さんの園地を視察する長尾市長(右)と山内敏組合長(左)

## 防除の徹底を呼び掛け

～黒星病撲滅キャラバン出発式～

中南地域県民局は4月12日、平賀青果センターで黒星病の撲滅キャラバン出発式を開きました。

佐藤佳克営農購買担当常務は「昨年は降雨前散布と徹底した薬剤防除により、黒星病の発生を極力抑えることができた。今年も良い出来秋を迎えられるよう、生産者と一丸となり共に頑張ろう」と激励しました。

出席者は、頑張ろう三唱で士気を高めた後、平賀地区の園地を巡回し、黒星病の防除対策を呼び掛けました。



黒星病撲滅に向けて頑張ろう三唱をする出席者